

活動事例紹介

平沢地域資源保全会（色麻町）

地区概要	取組面積：56.5ha（田 55.3ha、畑 11.7ha） 資源量：開水路 19.3km パイプライン 0.0km 農道 2.7km ため池 0 箇所
平成 27 年度交付金	農地維持支払交付金 1,683 千円 資源向上支払（共同活動）交付金 - 千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 - 千円
地域の概要	平沢地区は、宮城県色麻町の北西部に位置し周囲を低山地に囲まれた地形の水田地帯です。
取組みの概要	活動組織は、自治体の一行政区全農家 30 名と青年部、高齢者組織、婦人組織で構成し、農地及び農業用施設の保全維持管理や植栽活動等を行っています。 基礎活動では、農地法面や農道の草刈り、用排水路の土砂上げ、施設の点検鳥獣害防護柵の管理、保全活動では、植栽活動を行っており地域住民全員で活動しております。
取組みによる効果	活動開始後、若者から高齢者まで全員参加型で活動し、ますます地域の一体感が強まっており、農地保全活動以外の地域活動にも積極的な住民参加が行われ、地区の活性化が図られています。
課題	農家の高齢化や後継者が減少する中、地域資源を後世にいかに関引き継いでいけるかが課題となってきました。
その他	ここ数年で急激にイノシシによる農作物被害が深刻化しているなか、地区で防護柵を設置し、その活動にも保全会が参加しており被害防止の効果が表れてきています。 今後、個々の問題や課題の解決に向けた取り組みへの発展への期待と、さらに地域が一体となり農業に取り組みやすい体制と環境と生活しやすい環境を作り上げていきたいと考えています。



施設の点検状況



農道の草刈り状況



役員と青年部のミーティング